

●旧ゴルフ場建設予定地の活用 ●天草ジオパークについて



濱洲 大心
議員

【旧ゴルフ場建設予定地の活用】
濱洲 仮登記の解消はどれくらい進んだのか。整備の進捗状況は。地域振興部長 現在、筆数では68%が解消している。事業は管理用道路を主に整備し、2019年度に完了予定で財産の残高は1,460万円を見込んでいます。

一ク全体にわたる一体的取り組みが不十分。ジオサイトごとの物語を意識した活動やガイド育成に課題が残るとのこと。

濱洲 2023年に財産を管理する公社を解散する事になっているが、仮登記の解消は終わるのか。整備方針と整備後の管理体制を地元住民に説明するべきでは。

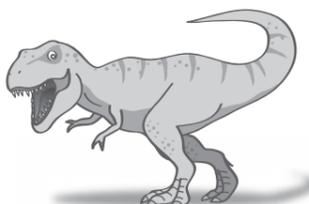
濱洲 ジオパークに対する予算は昨年より20万円少ない、658万円であるが、整備に必要な予算は足りるのか。他1市・1町の予算状況はどうなのか。

濱洲 2023年に財産を管理する公社を解散する事になっているが、仮登記の解消は終わるのか。整備方針と整備後の管理体制を地元住民に説明するべきでは。

濱洲 ジオパークの整備については、現在までに多額の費用を費やしている。2年後の審査で、認定取り消しとなれば、関係スタッフの今までの尽力が報われない。2年後には再認定を頂けるようお願いする。

濱洲 天草ジオパークの整備については、現在までに多額の費用を費やしている。2年後の審査で、認定取り消しとなれば、関係スタッフの今までの尽力が報われない。2年後には再認定を頂けるようお願いする。

濱洲 天草ジオパークの整備については、現在までに多額の費用を費やしている。2年後の審査で、認定取り消しとなれば、関係スタッフの今までの尽力が報われない。2年後には再認定を頂けるようお願いする。



認定取り消しとなれば、関係スタッフの今までの尽力が報われない。2年後には再認定を頂けるようお願いする。



赤木 武男
議員

●有料広告事業について(ごみ袋や公用車など) ●日常生活用具(暗所視支援眼鏡) 給付事業 ●防災のまちづくりについて

赤木 ごみ袋の有料広告事業への取り組みと実施時期について。また広告媒体の対象を市役所や支所、公共施設、公用車等にも検討してみてもどうか。

市長 日常生活用具給付等事業は、障がい者や難病の方に対し、日常生活の利便性の向上および介護者の負担軽減を図るもので、「暗所視支援眼鏡」は暗いところでも明るく見え、網膜色素変性症の方は暗い所で物が見えにくくなることから有効な用具。給付費用は国、県の補助もあり、市が負担することで難病患者の就労や就学などの自立へ向けた支援、及び災害時の避難支援へも役立つと判断したので、今後、事業の対象とします。

赤木 国指定難病の網膜色素変性症の患者を対象とした「暗所視支援眼鏡」を、日常生活用具給付等事業に

赤木 防災のまちづくりでは、避難場所となる施設整備のバリアフリー化への考えと備蓄用品に液体ミルクの備蓄の考えは。総務部長 避難所施設のバリアフリー化は、避難住民の生活に有効であり、通常および避難所利用も含め、取り外し可能な仮設のスロープを設置するなど検討していく。災害時には、お湯を確保できない事態も想定されるため、乳児用液体ミルクは、要配慮者避難所に限らず、一般避難所においても母乳の代替食品として使用でき、今後対応していく。



●熊本天草幹線道路(第二天草瀬戸大橋)・ ●十萬山公園の取り組み等について



平山 泰司
議員

平山 第二天草瀬戸大橋を主体とした本渡道路事業の進捗状況は。建設部長 本渡道路は現在、熊本県において橋梁の橋脚、仮橋などの工事が順調に進められている。2018年度末の進捗率は事業費ベースで約26%の見込みで、本年2月末現在の用地取得率は、面積ベースで約87%となっている。今後も2023年の完成に向けて計画的に事業が実施される。

平山 十萬山公園再生の進捗状況と景観回復、安全性等への取り組みは。建設部長 十萬山公園の再生は、本市の重要課題と捉え、施設改修や植栽、景観阻害樹木の伐採などを進めており、これらを契機に植樹活動やイベントが実施され、四季折々の景色を目当てに観光客も年々増加している。また、市道及び遊歩道等についても、周辺地権者等の皆様にご協力いただきながら景観回復や安全な通行確保に向けた取り組みを進める。

平山 熊本天草幹線道路の早期完成実現への動向、取り組みは。市長 熊本市から天草市に至る本幹線道路の早期完成を期し、予算確保や新規区間事業化につなげるため、沿線自治体、民間団体が連携して国土交通省など関係機関へ強力に要望活動を続けている。今年度は新たに二つの区間の優先整備を目指す検討が始まり、大矢野道路は熊本県において来年度予算が計上されている。また、「早期完成を求める天草島民集会」を引き続き開催する計画としており、今後も熊本県、地元自治体及び関係機関が一体となって早期完成への取り組みを進める。

平山 十萬山公園の再生は、本市の重要課題と捉え、施設改修や植栽、景観阻害樹木の伐採などを進めており、これらを契機に植樹活動やイベントが実施され、四季折々の景色を目当てに観光客も年々増加している。また、市道及び遊歩道等についても、周辺地権者等の皆様にご協力いただきながら景観回復や安全な通行確保に向けた取り組みを進める。



整備が進む本渡道路

●経済発展のための対策 ●弱者にやさしい天草市を ●天草の水産物の新たな可能性について



浜崎 義昭
議員

浜崎 住宅リフォームが本市に導入され、利用者から大変喜ばれている。上限金額まで利用できないか。

では、市長会でも熊本県に要望し、申請の提出を必要としない自動償還払いの導入について要望している。早期実現を要望する。

浜崎 障がい者の窓口支払いを子ども医療費助成制度と同じように、現物給付を行うことが、障がい者及びその家族の負担軽減につながるのでは。健康福祉部長 県内では、本市と熊本市以外は、償還払いとしている。

浜崎 ①しけの日でも、漁業者自らが出荷調整できる海水畜養施設が必要。漁業者の生活を守るために魚の価格を高くすることが急がれる。新鮮な魚をいつも提供できる体制を。②世界遺産の地元で取れる水産物を利用し、希少価値のある少ない魚種も取り扱い次第では、高額の食材や崎津でしか味わえない商品になる。③廃棄物がマイクロプラスチックになる前の段階のゴミ回収に力を入れるべき。海岸漂着物及び海上漂流物等を回収活用する取り組みを行うことを求める。

浜崎 本市の助成方法は償還払いと現物給付の併用で、多くの障がい者の方は、申請一つするにも不自由をきたす。申請の軽減について。市長 本市の助成方法は償還払いと現物給付の併用で、多くの障がい者の方は、申請一つするにも不自由をきたす。申請の軽減について。

経済部長 ①漁協が認定する中核的漁業者に施設補助。②崎津で開発中。③九州地方整備局と共同で実施中。

